

愛知三の丸クリニック だより

第18号

(平成31年4月)

新年度のごあいさつ

愛知三の丸クリニック 院長 飯田 将人

この度 前任 松波龍幸の後を受け、愛知三の丸クリニック院長に就任いたしました。

当クリニックは、地方職員共済組合の運営する医療機関ですが、一般の方にも広く開放されており、どなたにも受診していただけます。

当院は複数の専門医が外来診療にあたる総合クリニックです。

内科（一般内科と血液、循環器、消化器、内分泌代謝、呼吸器）、外科、皮膚科、眼科、歯科・歯科口腔外科の、各専門医が診療に当たっています。

健診部門も併設しており、年間 7,000 名を越える方に健診・人間ドックを提供しています。当クリニックの医療内容は主として以下の通りです。

1. 生活習慣病（高血圧、脂質異常、糖尿病など）の予防と管理
2. 慢性の疾患（慢性心不全や弁膜症、血液病、胃腸や肝臓病、肺の慢性閉塞性疾患、皮膚疾患、白内障や緑内障、歯科疾患など）の定期的な診察と治療
3. 健診や人間ドックで見つかった異常の2次診察と、必要に応じて高度医療機関への紹介

平成31年度（2019年）4月より診療内容を追加しました。

- 新たに循環器内科の診察日が追加され、健診・人間ドックの高血圧 心電図異常の方向けに専門外来を設けました。心エコーや24時間心電図を行います。
- 新たに呼吸器内科の診察日が金曜日に追加され、健診・人間ドックの胸部写真異常の方向けの専門外来を行います。胸部CTを撮影します。
- 脂質異常（コレステロール）の方向けに頸動脈エコーで血管壁に脂質が沈着しているか、脈波検査で動脈が硬くなっていないかをしらべます（一般内科）。
- これらの専門医による診察の結果で、必要に応じて高度医療機関へ紹介いたします。（緊急時以外の総合病院への受診には、クリニックなどかかりつけ医の紹介状が必要になることが多くなりました。）

新年度を迎え、新たな気持ちで今年度をスタートするのは、どの職場でも同じだと思います。当クリニックもまた、新たな気持ちで励んでまいり所存ですので、今後ともご支援お願い申し上げます。

大動脈弁閉鎖不全 手術 ⑫

愛知三の丸クリニック 院長 飯田 将人

1. 75 歳男性

4月になりました。日が昇るのが早くなり明るい朝となりましたが、まだ吹く風が冷たくコートを着て歩いていると、薄い色合いの桜が緑の樹々の間に控えめに咲いている景色を、街のあちこちに見かけます。真新しい制服を着た中学生が大きなカバンを抱えて神妙に歩いています。外来は朝からのんびりとしていました。時折、テレビから会話が漏れ聞こえてくるだけで、静かに時間が過ぎていきます。

丸顔で目鼻立ちがやさしい顔つきのOさんが、白いシャツに茶色の分厚いセーターを着てゆっくりと診察室へ入ってきました。

「どうされましたか？」

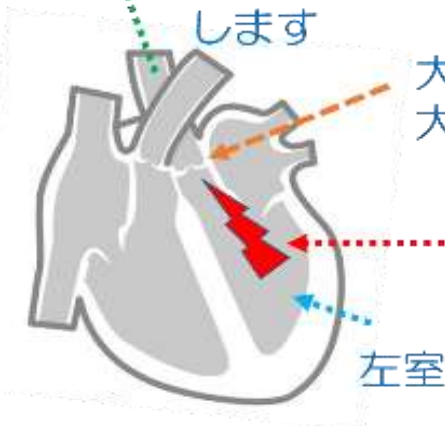
Oさんは75歳の男性です。65歳で定年退職してから週に3日仕事をしています。

定年前までは高血圧の薬を内服していましたが、この5年間は外来を受診することができませんでした。

「いろいろとありましてね。血圧も内服しなくても130か140くらいだったので、やめていました。ところが急にこの頃160くらいにあがってきたので心配になりましてね。」



正常では、大動脈弁が開放して左室から大動脈へ血液が駆出されると、大動脈弁がすぐに閉じて逆流を防止します



大動脈弁閉鎖不全になると大動脈弁に間隙ができます

大動脈弁閉鎖不全では、弁の閉鎖時に血液が大動脈弁の間隙から左室内へ逆流します

左室

2. 血圧が高い 歩くと胸苦しい

血圧は上が160で下が100でした。再度測定しても170と105です。聴診すると心臓の雑音をはっきりと聞こえました。心電図は5年前と同じ正常範囲でしたが、胸のレントゲン写真では前よりも、明らかに心臓が拡大していました。

「歩くと胸が苦しくなりませんか？」

「そういえば、この頃歩かなくなりました。平地でも少しあるくと苦しいからだと思います。」話をすると息切れをするのが、見ていてわかります。

心エコーをみると、図1のように心臓の出口である大動脈弁が壊れて血液が逆流していました。

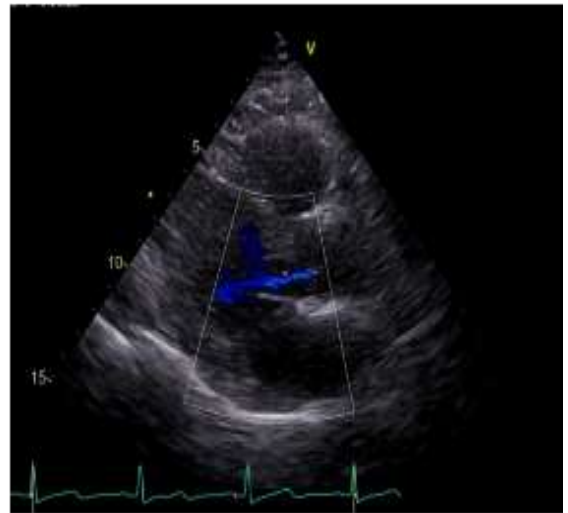
図1



心エコー



重症の大動脈弁閉鎖不全
逆流（カー）が幅広い



軽症の大動脈弁閉鎖不全
逆流（カー）が幅狭い

大動脈弁閉鎖不全と呼ばれる心臓弁膜症です。先月号のMさんのエコー図2と比較しても逆流する血液が多いことが明らかです。さらに心臓が拡大して動きがやや悪くなっていました。

図2 心エコー図

心臓内部の画像

赤色矢印は心臓の内径

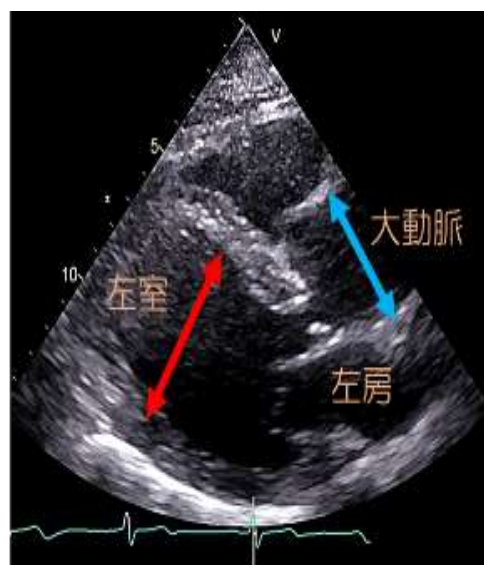
青色矢印は大動脈の径

両方とも

大動脈弁閉鎖不全では

正常者にくらべて

内径が拡大しています



Oさん（大動脈弁閉鎖不全）



正常者

3. 心臓の手術

私は O さんにこれまでの生活状況を尋ねると、家庭のことでかなり無理をして忙しい日々が続いていたそうです。血圧もついつい測定することなく何か月も過ごしていました。

「ちょっと無謀でしたかね。」愛想のいい O さんが、初めて表情を曇らせました。「できるだけのことをしてみましょう」

私は降圧薬を処方して、総合病院に紹介状を書きました。総合病院では心臓内科医と心臓外科医がチームとなり、心エコーをみながら検討した結果、O さんは手術を受けることになりました。平地を歩くと苦しい症状があり、心臓が拡大して動きがやや低下していることが理由でした。これ以上待つと心臓の筋肉がさらに壊れてしまい、手術をしても予後が悪くなるおそれがあると判断されました。手術は全身麻酔をかけて大動脈弁を切り取り、人工弁を縫い付ける手術です。

4. その後 のんびりと生活

手術が終わった後、3 週間ほど過ぎてから O さんがすっきりとした表情で外来に戻ってきました。鮮やかな水色のシャツを着て足取りも軽く、肌の色もよくなっていました。

「歩いて息切れはしなくなりました。旅行にでも行こうかと思えます。花の写真を撮るのが好きなもので。」

「まだ早いですよ。大きな手術の後には慎重に行動して、旅行は半年待ってください。」私が諭しても、O さんはあははと軽く笑い、薬の処方箋を受け取ると静かに診察室を去って行きました。

それから 3 年が過ぎました。半年に一度は心エコーで心臓を観察しています。心臓の大きさは戻りませんが収縮は回復しており、O さんは趣味の写真撮影を楽しみながら平穏な生活を送っています。

アメリカでは住民健診に心臓エコーを実施していることがあり、その調査結果によると大動脈弁閉鎖不全は、65 歳以上の 20%程度にみられるとされています。高血圧と高脂血症があるとその確率はさらに高くなります。

原因の多くはコレステロールが弁に沈着して変形を起こすこととされており、全身の動脈硬化症の部分現象である可能性があります。そのため頸動脈や大動脈などの血管を調べるとコレステロールが沈着してできた動脈硬化が併存していることがよく見られます。

または O さんのように大動脈が拡張する病気（大動脈瘤）がある（図 2 をみてください）と、弁のついている部位の大動脈がゆるんで弁の閉鎖しにくくなる場合もあります。この大動脈が拡張する病態は、生まれつきの体質と考えられています。大動脈径は 3 cm が正常ですが、O さんは 5 cm 以上に拡張していたため手術となりました。

高血圧に合併する弁膜症の 1 例を紹介しました。内容は臨床の事実に基づいていますが、登場人物は架空です。次回は僧房弁閉鎖不全について解説します。

愛知三の丸クリニックの診療科目と診療時間

【診療科目】

内科、外科、眼科、皮膚科、歯科・歯科口腔外科

【診療時間】(都合により担当医師が変更となる場合があります。)

平成31年4月1日現在

| 診療科目 | 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------|----|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 内科 | 午前 | (循環器) 飯田 | (ほうだい) (内分泌) 蓬臺 (循環器) 加藤 | (循環器) 石黒 (血液) 下川 (循環器) 飯田 | (循環器) 飯田 (消化器) 岡田 | (内分泌) 浅井※2 (血液) 緒方 |
| | 午後 | (呼吸器)※1 (血液) 緒方 (循環器) 飯田 | (循環器) 松波 (血液) 緒方 | (循環器) 飯田 (血液) 下川 | (循環器) 宮部 (血液) 杉崎 | (呼吸器) 渡辺 (血液) 杉崎 |
| 外科 | 午前 | — | — | — | 鈴木 | — |
| | 午後 | — | 鈴木 | — | — | — |
| 眼科 | 午後 | 中村 | — | — | 鶴田(第1・3・5週) 長屋(第2・4週) | — |
| 皮膚科 | 午後 | — | — | — | 嘉陽(第1・3・5週) 梶村(第2・4週) | — |
| 歯科 歯科口腔外科 | 午前 | 總山 | 總山 | 總山 | 總山 | 總山 |
| | 午後 | 總山 | 總山 | 總山 | 總山 | 總山 |

(※1) 月曜午後の呼吸器は、第2週と第4週のみ診察します。

(第2週は中畑医師、第4週は石田医師、重松医師、山田医師のいずれかが診察します。)

(※2) 金曜午前の内分泌は、第2週と第4週のみ診察します。

【診療受付時間】

午前： 8時50分から11時00分まで

午後： 12時50分から15時30分まで(眼科は15時00分までの受付です。)

【その他】

休診日については、院内掲示もしくは当クリニックホームページでご確認ください。

URL：<http://www.sannomaru-hp.jp/>

医科の再診の場合は、総合受付または電話(医科予約受付専用電話：052-961-7012)にて予約を受け付けます。

歯科の予約は、歯科受付窓口または電話(歯科予約受付専用電話 052-950-0560)にて予約を受け付けます。

各種健康診断・人間ドックのお問い合わせは、電話(052-950-0500)にご連絡ください。

外来よりお知らせ

【花粉症について】(内科・眼科・皮膚科)

花粉等の影響による諸症状(鼻づまり、鼻水、目のかゆみ、くしゃみ、咳等)でお困りの方やご自身のアレルギー(アレルギーの原因物質)をお知りになりたい方は、当クリニックにお任せください。

医師による診察(医師の判断による血液検査等)を行い、必要に応じて内服薬、点鼻薬、点眼薬等を処方します。

【禁煙外来について】(内科)

当クリニックでは、毎週水曜日の午前に、内科の下川医師の指導・管理の下に内服薬を用いた禁煙指導(禁煙外来)を行っています。

内服薬による禁煙をご希望の方は、お気軽にご来院ください。

【AGA(男性型脱毛症)について】(外科・皮膚科)

AGA(男性型脱毛症)による薄毛でお悩みの方は、外科(毎週火曜日の午後、木曜日の午前)及び皮膚科(毎週木曜日の午後)において、医師の診断の下に内服薬フィナステリド錠(プロペシア錠)の処方を行っています。

AGAは少しずつ進行しますので、できるだけお早目の受診をお勧めしています。

当クリニックにご来院の際は、保険証、診察券(初めての方を除く)を持参し、総合受付にお申し出ください。

編集後記

愛知三の丸クリニックだよりの感想や取り上げてほしいテーマ等がありましたら下記メールアドレスにご連絡ください。今後の参考にさせていただきます。

E-mail

aichi-sannomaru-hp@oregano.ocn.ne.jp

住
電

愛知三の丸クリニック

所 名古屋市中区三の丸3-2-1
話 052-961-7011(代表)
052-961-7012(医科予約専用)
052-950-0560(歯科専用)
052-950-0500(健診専用)